

※ご使用方法は、ホームページに動画を掲載しておりますので、ご参照ください。

兼用型圧着ソケット使用方法

継手部の漏れ補修

- 1 補修する部分のサビや汚れをワイヤーブラシ等で落としてください。
サビこぶ等の付着物はノコ刃等で確実に落とし段差部を直角に仕上げてください。
最後にウエスできれいに拭き取ってください。
- 2 パイプと継手の段差部の上に圧着ソケットのゴムの段差をきっちり合わせて隙間のないように取り付けてください。
- 3 圧着ソケットの耳部のネジ穴に取付ボルトを差し込み、偏締めしないように均等に締め込んで漏れが止まるまで続行してください。
- 4 鋼管用65A以上のものには六角レンチとパイプハンドルが付属しています。
始めはレンチだけで締め込み、レンチの締めが重くなればパイプハンドルをレンチに差し込んで、両手で締め込んでください。

直管部の漏れ補修

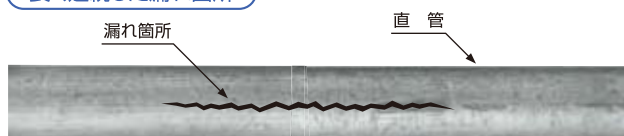
圧着ソケット内面の直管押さえ部分(直径の小さい方)のみを使用します。
漏れ箇所には圧着ソケットの湾曲部の一番深い部分(中央部分)が当たるように当てがい、
上と同様に4個の取付ネジを偏締めにならないように均等な力で締めてください。
また鋼管および銅管には直管専用型圧着ソケットがありますので、
それをご使用いただく方が理想的な漏れ止めとなります。

直管専用型圧着ソケット使用方法

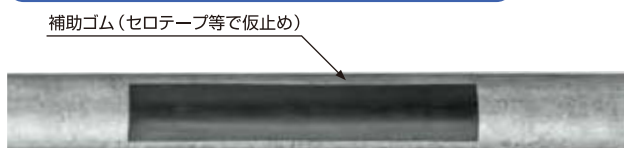
- 1 補修する部分のサビや汚れをワイヤーブラシ等で落としてください。
- 2 圧着ソケットの湾曲部の一番深い部分(中央部分)が漏れ箇所に当たるように取り付け、
兼用型の場合と同様に、4個(ロングサイズは8個)の取付ネジを偏締めにならないように均等な力で締めてください。
- 3 鋼管用65A以上のものには六角レンチとパイプハンドルが付属しています。
始めはレンチだけで締め込み、レンチの締めが重くなればパイプハンドルをレンチに差し込んで、
両手で締め込んでください。

※ 漏れ箇所が長く連続している場合は、補助ゴムを併用して圧着ソケットをいくつか横に並べて使用することができます。

長く連続した漏れ箇所



漏れ箇所に補助ゴムをセロテープ等で仮止めする



補助ゴムの上から直管用圧着ソケットを並べて取り付ける



■補助ゴムのサイズ

	幅(mm)	厚さ(mm)	長さ(m)
鋼管 15A~25A用	30	1.5	1
鋼管 32A~50A用	40	2.0	1
鋼管 65A~150A用	60	3.0	1
銅管 15A用	16	1.5	1
銅管 20A~40A用	30	1.5	1
銅管 50A~80A用	40	2.0	1

補助ゴム(別売)

